

第31回 愛知県高等学校保健体育研究大会が開催されました

平成28年1月26日（火）知立リリオ・コンサートホールにて「第31回愛知県高等学校保健体育研究大会」が開催され、多くの県内高等学校保健体育担当教員が参加されました。

愛知県学校体育研究連合会高等学校部会・大野芳樹会長より挨拶の後、平成27年度全国及び愛知県表彰披露がありました。

大野芳樹会長の挨拶



功労者の表彰



【三好高等学校・藤嶋典弘氏】



【津島高等学校・平井章博氏】



【名東高等学校・徳永賢志氏】



【星城高等学校・田中善夫氏】

今大会を御欠席された功労者の先生方も併せて紹介します。

岡崎工業高等学校・鳥山匡先生

松陰高等学校・加藤大壱先生

優良校の表彰



【千種高等学校】



【津島北高等学校】

功労者・優良校を代表して、愛知県立三好高等学校・藤島典弘前会長より謝辞をいただきました。



それぞれの表彰校・表彰者に対して、大会参加者から盛大な拍手が送られました。

本研究大会では、3校の高等学校に2年間研究をしていただいた成果を発表していただきました。

「ゴール型スポーツにおける学習のねらいへの導入としてのアルティメット」
愛知県立豊明高等学校 伊藤 明久先生



「集団行動が体育授業および学校生活に及ぼす効果について」
愛知県立東海南高等学校 平島 章人先生



「体育授業における効果的なトレーニングの実践」
愛知県立渥美農業高等学校 鈴木 育直先生



その後の講演会では、講師として国立教育政策研究所教育課程センター基礎研究部長の今関豊一先生に「今後もとめられる資質・能力の育成を目指す保健体育科の授業」と題して、高等学校におけるこれから目指すべき保健体育の授業の在り方について講演していただきました。



今回の研究大会では、保健体育の理論的研究を通して指導力の向上と本県高等学校保健体育の振興充実を図ることができました。